

ドイツのグローバル中堅企業

世界をリードする21社：自動車業界編

German Mittelstand

FBC Business Consulting GmbH
Frankfurt/Germany

—目次—

- 1. Aluminium Rheinfelden GmbH**
- 2. ARBURG GmbH + Co KG**
- 3. DBW Advanced Fiber Technologies GmbH**
- 4. Heitkamp & Thumann KG**
- 5. Hengst SE & Co. KG**
- 6. Hirschvogel Automotive Group**
- 7. KW automotive GmbH**
- 8. Ortlinghaus-Werke GmbH**
- 9. Pepperl+Fuchs GmbH**
- 10. Pilz GmbH & Co. KG**
- 11. Römheld GmbH Friedrichshütte**
- 12. Schlemmer Holding GmbH**
- 13. K. A. Schmersal Holding GmbH & Co. KG**
- 14. G. Siempelkamp GmbH & Co. KG**
- 15. SIKORA AG**
- 16. Swoboda KG**
- 17. Thermik Gerätebau GmbH**
- 18. Hans Turck GmbH & Co. KG**
- 19. Weber Automotive GmbH**
- 20. WITTE Automotive**
- 21. Witte Barskamp KG**

Aluminium Rheinfelden GmbH アルミ加工

Friedrichstraße 80
79618 Rheinfelden, Germany
Tel. +49 (0) 7623-93-0
www.alurheinfelden.com

製
品

- ◆ラインフェルデンアロイズ
アルミ鋳造合金
- ◆ラインフェルデンセミズ
アルミニウムスラグ
- ◆ラインフェルデンカーボン
電極ペースト(electrode paste)、特殊カーボンペースト

代表	Dr. Alois J. Franke (CEO) * 同族経営
E-Mail	info@alurheinfelden.com
従業員数	249人(2014年)
設立年	1898年
売上高	1億6,400万ユーロ(2014年)
市場ポジション	スラグ生産で世界シェア16%
輸出比率	67% * RHEINFELDEN SEMIS(スラグ部門)は約80%
国際規格	(ALLOYS)ISO TS 16949:2009(自動車)、DIN EN 50001、AEO(2012年)
生産拠点	ドイツ・米国
国外拠点	米国
日本の提携会社	<ALLOYS>ドバイアルミニウム(日本及び東南アジア地域における生産) 伊藤忠(日本及び東南アジア地域における販売)
カタログ・会社案内	ホームページから印刷可能(独・英)

沿 革

- 1898年 アルスイス(後のアルグループ)の支店として、ドイツとスイスの国境にまたがる町ラインフェルデン(ドイツ領)に創業
- 1937年 アルミニウム・ヒュッテ・ラインフェルデンGmbHに社名変更
- 1967年 スラグ生産開始
- 1994年 経営陣買収(MBO)によりアルスイスグループから離脱。精巧な部品に使用可能な合金「Magsimal®-59」発売。この年、合金「Silafont®-36」を開発
- 2000年 ラインフェルデンセミズがアルミニウムスラグで世界市場シェアの首位に立つ
- 2003年 自動車産業向けに大型ダイキャスト構造部品用アルミ合金「Castasil®-37」を発売
- 2008年 アルミニウム・ラインフェルデンGmbHが持ち株会社制に移行し、傘下のアロイズ、セミズ、カーボンはそれぞれ独立したGmbH & Co.KGsに
- 2015年 米ノースカロライナ州クリントンにラインフェルド・アメリカLLCを設立

Aluminium Rheinfelden GmbH

プロフィール

ドイツ初の精錬所として1898年に操業したアルミニウム・ラインフェルデンは、今日本拠を置くライン川上部に世界最大級のスラグ工場を持つ。社員250人規模の中小企業だが、輸出比率67%、スラグ生産でシェア16%と世界市場で圧倒的な存在感を放つ。近年3万2,000トン台で推移している同社の年間アルミニウム加工量は、新型の製錬炉及び製造ラインの導入により、2017年末までに4万トンにまで拡大する見込みだという。

同社の大きな強みの1つが立地である。ドイツ・ラインフェルデンにある本社工場は、ライン川に面しているため、隣接する貨物港から製品を迅速に発送できる。“ラインフェルデンからメキシコまでの海上輸送費用は、北米からメキシコまで陸路で送るよりも安い”という見方もある程、同社が世界市場で成功する上で、立地が果たす役割は大きい。

主要製品

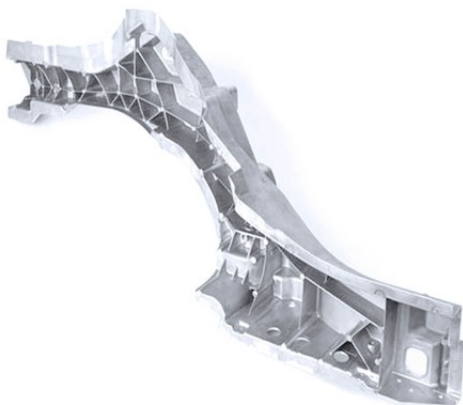
Magsimal

1994年発売

精密部品向けに開発された合金。強度と高精密な形材を長期間保持する必要がある箇所に適用可能な合金。優れた溶接性と高反発性を持つため、あらゆる分野に適用できる。塩水にも強い最高度の耐腐食性を誇る。

Magsimal®-59用途例

建築・自動車・航空機・家庭用電気製品・空調機・自動車工学・食品産業・機械工学・光学・家具・造船・化学



Castasil®-37 製品例



Magsimal®-59 製品例

ARBURG GmbH + Co KG

機械工学・射出成形機

Arthur-Hehl-Straße
72290 Loßburg, Germany
Tel. +49 (0) 7446-33-0
www.arburg.com

製
品

プラスチック射出成形機「オールラウンダー」シリーズ
ロボット装置
ターンキーソリューション
3Dプリンター「フリーフォーマー」

代表	Eugen Hehl、Juliane Hehl、Michael Hehl、Renate Keinath（以上、Managing Partners） Gerhard Boehm、Jürgen Boll、Heinz Gaub（以上、Managing Directors） * 同族経営
E-Mail	contact@arburg.com
従業員数	2,700人（2016年／グループ全体）
設立年	1923年
連結売上	6億3,600万ユーロ（2016年）
市場ポジション	プラスチック加工向け機械製造の世界リーディングメーカー
輸出シェア	約70%
国際規格	ISO 9001（品質）、ISO 14001（環境）、ISO 50001（エネルギー）（全て2012年）
国外拠点	EU主要国、中国、シンガポール、タイ、フィリピン、台湾、カナダ、米国、 サウジアラビア、UAE他（世界25カ国33カ所に自社拠点、50カ国に代理店）
特許	数1,000件
主な顧客	自動車メーカー、包装資材、エレクトロニクス、医療、光学機器、白物家電、 玩具
日本代理店	（有）アーブテクノ（ARBTECHNO Ltd）
カタログ・会社案内	（有）アーブテクノホームページ（ http://www.arbtechno.com/ ）で閲覧可能



ドイツ・ロースブルク本社

ARBURG GmbH + Co KG

沿革

- 1923年 医療精密機器製造工場の設立
- 1956年 射出成形機第1号を発売
- 1961年 射出成形部品の柔軟な製造を可能にする先駆的な「アーブルグ・オールラウンダー (ALLROUNDER)」原則の発明
- 1975年 世界初マイクロプロセス制御を導入した射出成形機を発表
- 1986年 インダストリー4.0分野における草分けといえる、全自動射出成形による生産を実現
- 1993年 「SELOGICA」制御システムが機械操作に革新をもたらす
- 2005年 創業家3代目が経営を引き継ぐ
- 2013年 産業用3Dプリンター「フリーフォーマー／freeformer」発売
- 2016年 最大型締力6,500kNを誇る新型ハイブリッド式射出成形機「オールラウンダー 1120 H」発売

プロフィール

当社は1950年代に射出成形機第1号の開発に成功し、今日では世界中のプラスチック部品メーカーから信頼される業界の主要メーカーに成長した。ロボット装置、ターンキーソリューション、周辺装置が当社のオールラウンダーシリーズを完結する。



フリーフォーマー(左)とオールラウンダー(右)



経営陣: (左から) Eugen Hehl、Juliane Hehl、Michael Hehl、Renate Keinath

日本企業との提携について

アーブルグと日本市場との関わりは長い。さかのぼることおよそ半世紀前、1966年にエウゲン・ヘール社長が日本を訪れ、射出成形機50台を売り上げた。以来数10年に渡って当社は日本市場に製品を提供し続け、現地エキスパートによるアフターサービスを行っている。

今日、日本で販売される「オールラウンダー (ALLROUNDER)」射出成形機の大半は、多成分射出成形やLSR処理などの特殊な目的に使用されることが多い。加えて、日本のお客様は当社の3Dプリンター「freeformer」に高い関心を示されている。

DBW Advanced Fiber Technologies GmbH

自動車部品

Rodetal 40
37120 Bovenden, Germany
Tel. +49 (0) 5594-801-0
www.dbw.de

製品

ミネラルファイバー
テキスタイルグラスファイバー
ステンレススチールファイバー
上記製品の特定用途向け吸音・断熱加工

代表	Christian Brauer
E-Mail	info@dbw.de
従業員数	870人(2016年)
設立年	1980年
売上高	7,700万ユーロ(2016年)
市場ポジション	自動車排気装置向け吸音・断熱効果のあるファイバー部品の世界市場リーダー
国際規格	ISO TS 16949(米国を除くグループ各社)、ISO TS 9001(米国及びスペイン支社)
生産拠点	9カ所
国外拠点	スペイン、ポーランド、ハンガリー、中国、米国、メキシコ
主な顧客	アウディ、シュコダ、セアト、フォルクスワーゲン、Bosal、Boysen、マニエッティ・マレリほか多数
カタログ	ホームページから印刷可能(独・英)

沿革

- 1980年 DBWドイツ・バザルトシュタインウォレ創業。専門分野及び商品ラインを急速かつ継続的に拡大
- 1988年 スペインに初の海外支店を開設
- 1991年 ポーランド・Cigacicelに子会社を設立
- 2001年 DBW Fiber Neuhaus GmbHを設立
- 2006年 米国子会社DBW Fiber Corporationをサウスカロライナ州サマービルに設立
- 2008年 中国・上海に子会社を設立。SüdBGによる買収後、戦略的な国際化を進める
- 2017年 独キールのDMB Dr.Dieter Murmann Beteiligungsgesellschaft GmbHによる買収

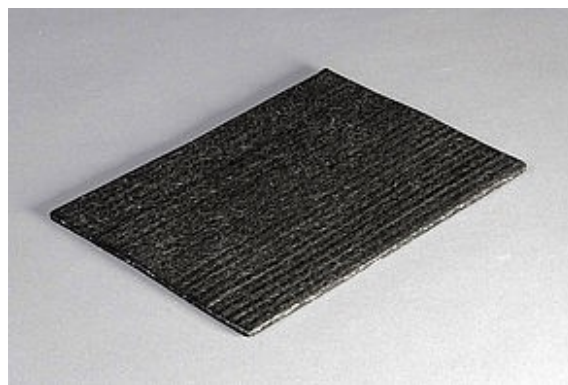
DBW Advanced Fiber Technologies GmbH

プロフィール

当社はドイツ・ニーダーザクセン州ボーヴェンデンに本拠を置く、自動車排気装置向け断熱・吸音性ファイバー部品の世界主要メーカーである。乗用車から商用車、二輪車まで車両の種類、エンジン機種、排気システムによって、温度・吸音面で絶縁体に求められる特性も異なる。当社では全ての要望を満たすために、「biosil®」、「powertex®」という2つの素材を開発した。このうち、主力製品の1つである鉱物綿「biosil®」は、抜群の断熱性・吸音効果を誇ると同時に、リサイクル性・生分解性に優れ、健康リスクを生じないという特長を持つ。



biosil®



ガラス/PPファイバーニードルマット「bicomat®」



ドイツ・ボーヴェンデン本社

Heitkamp & Thumann KG

金属・プラスチック加工

Königsallee 4
40212 Düsseldorf, Germany
Tel. +49 (0) 211-7954-0
www.ht-group.com

製品

- ◆H&Tバッテリーコンポーネント
電池缶、フラットパーツ、自動車用電池
- ◆H&Tプレスパート
プレス部品
- ◆Westfaliaメタルコンポーネンツ
シート部品、車体・車台部品
- ◆Westfalia Metal Hoses
金属製フレキシブルホース
- ◆Doby Verrolec
HVAC(暖房、換気、および空調)

- ◆H&Tプロダクションテクノロジー
金属成形用工具、機械、設備
- ◆H&Tインダストリアル
深絞り加工用特殊部品

代表	Christian Diemer (CEO & General Partner)、Peter Jennissen (COO & General Partner)、Peter Schmelzer (Chairman H&T Presspart & General Partner)
E-Mail	info@ht-group.com
従業員数	2,185人(2016年)
設立年	1978年
売上高	4億900万ユーロ(2016年)
市場ポジション	消費者向け電池部品(バッテリーコンポーネント)、定量吸入器用エアゾール缶(プレスパート)、トラック用デカップリング要素(ウェストファリア)の分野で世界市場のリーディングカンパニー
国際規格	〈ウェストファリア〉TS 16949、EN ISO 14001、EN ISO 50001
国外拠点	英国、チェコ、スペイン、UAE、中国、香港、インド、シンガポール、米国
主な顧客	消費者向け電池メーカー、自動車メーカー、製薬メーカーなど
会社案内	オンラインでダウンロード可能(独・英)

沿革

1978-79年	独マルスベルクのGemi Metalwarenfabrik(ゲミ金属加工工場)を引き継ぐ形で創業。米Truelove & Maclean社及びBouffard Metal Goods社の株式を保有
1992-2001年	複数の会社を買収：Gemi販売部門、シンガポール、中国、チェコ、米国に生産拠点を開設
2002-12年	英国、ドイツ、スペインの企業を買収。新工場を開設し、Trans-Matic社と合併事業「HTTM」を立ち上げる
2013-15年	ドイツ(マルスベルク、クリミツチャウ)、中国(東莞)、英国(ブラックバーン)の4拠点を大幅に拡大。H&TネバダLLCとTrans-Matic社の合併事業がスタート
2016年	H&Tプレスパート、ウルグアイの首都モンテビデオに販売拠点を設置

Heitkamp & Thumann KG

プロフィール

H&Tバッテリー・コンポーネントは、世界最大の一般消費者向け電池部品製造メーカーである。高いイノベーション潜在力と先見の明に優れたマーケティング戦略が、主要電池メーカーとの提携を確かな成功に導く。当社は近年拡大傾向にあるリチウムイオン電池ならびに革新的な電池技術の需要に対応する。円筒形から角型まで当社の電池は、ハイブリッド、プラグイン・ハイブリッド、電気自動車などの各種エコカーに使用されている。H&Tプレスパートは、製薬業界向けに高精密金属・プラスチック部品の製造メーカー。Westfaliaメタルコンポーネンツは、高張力鋼を原材料に最新技術で自動車のシート部品ならびに車体・車台部品を生産する。H&Tプロダクションテクノロジーは、金属成形の工具、機械、設備の製造開発に特化している。



経営陣: (左から) Dietmar Schmitz、Peter Jennissen、Peter Schmelzer、
Harald Langerbeins、Bill Shannon Christian Diemer



精密成形自動車部品



電池部品

Hengst SE & Co. KG

自動車用フィルター

Nienkamp 55-85
48147 Münster, Germany
Tel. +49 (0) 251-20202-0
www.hengst.com

製品

オイルミストセパレーター
燃料フィルターシステム
オイルフィルターモジュール
流体管理モジュール
オイルフィルターシステム
オイルタンク上部

代表	Jens Röttgering (オーナー・会長)、Dr. Robert Stößer (CEO)、Dr. Torsten Penz (COO) * 同族経営
E-Mail	info@hengst.de
従業員数	3,000人
設立年	1958年
売上高	4億ユーロ (2014年)
市場ポジション	液体管理システム、クランクケース換気システム、フィルターシステム (オイル、エア、車室内空気) の分野におけるリーディングメーカー
国際規格	ISO 9001、ISO/TS 16949、ISO 14001
国外拠点	ポーランド、デンマーク、中国、インド、シンガポール、UAE、米国、ブラジル
主な顧客	アウディ、オペル、BMW、フォルクスワーゲン、ポルシェ、MAN、ミーレ、三菱ふそうトラック・バス、メルセデスベンツほか多数
カタログ・会社案内 オンラインで閲覧可能 (独・英)	

沿革

- 1958年 ウォルター・ヘングストがミュンスターにて創業
- 1961年 本格的なサブフローオイルフィルターの第1号製品をメルセデスベンツの乗用車向けに納入
- 1979年 初の外国拠点として、オーストリア・フェクラブルックにスクリーオン型フィルターの生産工場を開設
- 1980年 メルセデスベンツ商用車向けに、全プラスチック製吸引サイレンサーの連続生産を開始
- 2003年 米デトロイトとブラジル・サンパウロにエンジニアリングオフィスを開設
- 2005年 中国クンシャンに支社を開設
- 2013年 インド・バンガロールに支社を開設
- 2014年 シンガポールに販売拠点を設置
- 2016年 デンマークのフィルター製造会社、ノルディック・エアフィルトレーション (従業員数: 100人、3拠点) を買収
- 2017年 中東ドバイに販売拠点を開設

Hengst SE & Co. KG

プロフィール

当社はOEMとして、世界有数の乗用車・商用車メーカー向けに、高品質な多機能フィルター、流体管理システムを生産している。開発段階において当社は、最大限の効率化を図る一方で、重量、設置スペース、取り付け、メンテナンス費用、時間を最小限に抑えることに注力している。当社のモットー、“If it works,take it.If it doesn't work,leave it.(うまく行けばつかみ取れ。うまくいかなければ諦めよ),”はいつも不変だ。



ドイツ・ミュンスター本社



オイルミストセパレータ



燃料フィルターシステム

Hirschvogel Automotive Group 自動車部品

Dr.-Manfred-Hirschvogel-Straße 6
86920, Denklingen, Germany
Tel. +49 (0) 8243-291-0
www.hirschvogel.com

製品

◆ガソリン・ディーゼルインジェクション部品

インジェクターボディ、ポンプハウジング、コネクター、レールなど

◆トランスミッション部品

トランスミッションシャフト、カウンターシャフト、パーキングギアなど

◆パワートレイン部品

スタブアックスル、フランジシャフト、ハブシャフト、中間シャフトなど

◆シャシー部品

ステアリングナックル、ホイールキャリア、ホイールハブ、ブレーキキャリパーなど

◆エンジン部品

バルンサーシャフト、ニードル軸受一体型バルンサーシャフト、エキセントリックシャフトなど

代表	Frank M. Anisits, Dr. Thomas Brücher, Dr. Alfons Hätscher * 同族経営
担当者	Jun Fukumoto (Jun.Fukumoto@hirschvogel.com)
従業員数	5,000人(2016年)
設立年	1938年
売上高	10億1,100万ユーロ(2016年)
市場ポジション	自動車部品向けスチール・アルミ鍛造・機械加工の分野で世界の主要メーカー
国際規格	ISO/TS 16949:2009, DIN EN ISO 14001:2015, BS OHSAS 18001:2007など
国外拠点	ポーランド、インド、中国、米国
主な顧客	Bosch, BMW, Continental, Daimler, Delphi, Ford, Getrag, GKN, IFA, Magna, Neapco, Porsche, Renault, Schaeffler, VW Group, ZFほか多数
日本の取引先	デンソー、ジェイテクト／光洋精工、NTN、武蔵エンジニアリング、トヨタ自動車
カタログ・会社案内	ホームページからダウンロード可能(独・英)



本社:ドイツ・デンクリンゲン

Hirschvogel Automotive Group

沿革

- 1938年 ウィリー・ヒルシュフォーゲルとその2人の兄(アントン、ハンス)が鍛造メーカー「Hammerwerk Hirschvogel OHG」を設立
- 1963年 現在の本拠地であるバイエルン州デンクリンゲンに工場を開設
- 1971年 社名をOHGからHirschvogel KGに変更
- 1981年 Hirschvogel Umformtechnik GmbHに社名変更し、画期的な鍛造工程「温間鍛造(warm forging)」を導入
- 1988年 創業50周年を迎え、売り上げは1億ドイツマルクを突破。米オハイオ州に初の海外支社開設
- 2001年 中国・平湖市に台湾メーカーChian Hsing Forgingと合弁会社を設立
- 2005年 中国の合弁会社を解消し、同社を完全子会社化
- 2008年 インドのメーカーKalyani Thermal Systems Ltd.と現地に合弁会社を設立
- 2009年 グループ全体の親会社として、Hirschvogel Holding GmbHを設立。日本の(株)コタニとポーランドに合弁会社を設立
- 2011年 ポーランドの合弁会社を解消し、同社を完全子会社化
- 2012年 印メーカーとの合弁関係を解消し、同社を完全子会社化
- 2014年 売り上げが8億ユーロを突破。インドに新工場を開設
- 2016年 メキシコに生産子会社を設立

プロフィール

南ドイツのバイエルン州デンクリンゲンに本拠を置く当社は、スチール・アルミニウム鍛造及び機械加工分野における世界最大級の自動車部品メーカーである。当社のビジョンは——常に成長し続けること、需要拡大とともに生じる新しい質問、疑問に対して常に的確な答えを提供し続けること——である。そのために私たちは一つ一つの製品に全身全力で取り組む。

日本企業との提携について

当社はすでに直接又は商社などを通じて間接的に日本企業とのビジネス関係を構築しており、今後さらに強化して行きたいと考えている。関係があるパートナー企業として豊田通商、住友商事、岡谷鋼機などが挙げられる。われわれは日本市場に大いに関心を持っており、既存のビジネス拡大に尽力する一方で、積極的に他社とのコンタクト拡大に取り組んでいる。具体的には、企業を直接訪問したり、メッセ等のイベント参加を通じて、当社の認知度拡大と日本型ビジネス文化の習得に努めている。



Gasoline rail

KW automotive GmbH サスペンションシステム

Aspachweg 14
74427 Fichtenberg Germany
Tel. +49 (0) 7971-9630-0
www.kwsuspensions.de

製
品

◆各種サスペンション

コイルオーバー
ダイナミックレベル
コントロール

◆油圧リフトシステム

車高調整スプリングキット

代表	Klaus Wohlfarth, Jürgen Wohlfarth * 同族経営
E-Mail	info@kwautomotive.de
従業員数	200人
設立年	1995年
売上高	—
市場ポジション	世界最大規模のラインナップを誇るサスペンションメーカー
輸出比率	—
国際規格	—
国外拠点	英国、スイス、米国
主な顧客	アルピナ、メルセデスAMG、クライスラーUSA、MTM、マツダ、Honda、 フォルクスワーゲン・レーシングUKIほか多数
カタログ・会社案内	http://www.kwsuspensions.jp/jp/ （橋本コーポレーションHP）

沿 革

- 1995年 会社創業。サスペンションがドイツ技術検査協会(TÜV)から初めての認定を取得する。
- 1996年 社名をKW Coilover Suspensionsに変更し、事務所を床面積150㎡の保管倉庫に移転する。当時は社員3名でコイルオーバー・サスペンションを開発していた
- 1997年 現本拠地のフィヒテンベルクに床面積1,000㎡の工場建設を開始
- 1998年 経営体制を改め、社名をKW automotive GmbHに変更
- 2001年 初の外国支社をスイスに設立
- 2004年 カナダ・バンクーバーに北米支社、KW Suspensions North America Inc. を設立
- 2006年 独本社に最新鋭の油圧式7ポストリグダイノテスト施設(7-post drive dynamics test rig)を設置
- 2008年 ドイツで行われた展示会で、車両を45mmリフトできる新技術「油圧リフトシステム(KW HLS)」を披露
- 2009年 中国に支社を設立
- 2012年 KW dlc エアサスペンションを発売
- 2014年 STサスペンションを世界発売

KW automotive GmbH

プロフィール

およそ20年前、わずか3名の社員で150㎡の敷地からスタートした当社は今日、社員200名以上、敷地面積約1万6000㎡、さらに国外に複数の子会社を持つグローバル企業へと成長を遂げた。2009年には製品の種類が3,000を超え、世界最大規模のラインナップを誇るサスペンションメーカーになった。R&D(研究開発)・生産・販売・物流はすべてドイツ本社に集約し、全プロセスの合理化を推進しつつ、質の高い製品の提供に努めている。



ドイツ・フィヒテンベルク本社



KWオートモーティブ米国拠点



inoxシリーズ



KW DLC W-LAN モジュール

Ortlinghaus-Werke GmbH

駆動技術

Kenkhauser Straße 125
42929 Wermelskirchen, Germany
Tel. +49 (0) 2196-85-0
www.ortlinghaus.com

製品

〈業界〉

◆プレス技術(自動車など) ◆船舶技術 ◆ウインチ技術 ◆農業技術

〈主要製品〉

プレート、クラッチ、ブレーキ
クラッチ・ブレーキユニット
コンパクト駆動装置
メカニカル・メカトロニクス技術

代表	Peter Ortlinghaus、Dr. Matthias Fechner (Board of Directors) * 同族経営
E-Mail	info@ortlinghaus.com
従業員数	550人
設立年	1898年
売上高	8,000万ユーロ(2015年)
市場ポジション	技術リーダー
輸出比率	51%
国際規格	ISO 9001、ISO 14001(本社)、ISO 50001
国外拠点	(生産)スイス・中国 (支店)英国・フランス・スイス・ロシア・中国・インド (販売)主要国に代理店
研究開発費率	売上高の6%
主な顧客	プレス(自動車など)、船舶、農業・林業、石油・ガス、鉱業、建設技術
日本の提携会社	株式会社トミタ(http://www.tomitaj.co.jp)
カタログ・会社案内	ホームページからダウンロード可能(独・英)

沿革

- 1898年 オットー・オルトリングハウスがドイツ中西部のレムシャイトで創業
- 1923年 当社主要製品の核心技術となる「プレート」の生産を開始
- 1932年 機械的作動クラッチとブレーキの開発
- 1936年 油圧/空気圧作動クラッチとブレーキの開発
- 1950年 電気機械作動クラッチとブレーキの開発
- 1972年 フランス・パリとスイス・ガムスに支店を開設
- 1973年 スイス・ガムスのLamellen und Kupplungsbau August Haeusermann GmbHを買収
- 1978年 英ブロムスグローブに支店を開設
- 2002年 中国・上海に支店を開設。プレス用直線運動ロックシステムの開発
- 2006年 メカトロニクス: 状態監視の開発
- 2009年 インド・プネーに支店設立
- 2011年 露モスクワに支店設立
- 2012年 船用自給式油圧作動クラッチ

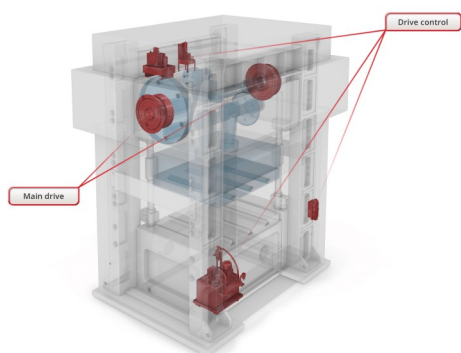
Ortlinghaus-Werke GmbH

プロフィール

2018年に創業120年を迎える当社は、駆動技術の分野で世界市場をリーディングする技術を開発してきた。プレス技術の分野で75年の実績を誇り、クラッチ・ブレーキユニットからメカトロニクス技術に至るまで、機械プレス・サーボプレス全般の商品を提供している。当社は世界で唯一クラッチの組み立てと、プレートライニングの製造、メカトロニクス技術の統合に成功した企業であり、世界25ヵ所にある支店、販売パートナー、サービス拠点は、優れた顧客サービスを約束する。



ドイツ・ヴェルメルスキルヒェ本社



自動車プレス

Pepperl+Fuchs GmbH

産業オートメーション

Lilienthalstraße 200
68307 Mannheim, Germany
Tel. +49 (0) 621-776-0
www.pepperl-fuchs.com

製品

ファクトリーオートメーション向けコンポーネント
プロセスオートメーション向けコンポーネント及びソリューション

◆工業用センサ

近接センサ、光電センサ、工業用画像処理、超音波センサ、
ロータリエンコーダ、位置検出システム、傾斜センサと加速度センサなど

◆防爆技術

絶縁形バリア、ツエナーバリア、信号変換器、フィールドバスインフラストラクチャ、
防爆リモートI/Oなど

代表	Gunther Kegel, Ph.D (CEO) 、Werner Guthier、Mehmet Hatiboglu * 同族企業
E-Mail	sales@jp.pepperl-fuchs.com 日本支社: (株)ピーアンドエフ
従業員数	5,600人(2016年)
設立年	1945年
売上高	5億5,500万ユーロ(2016年)
市場ポジション	自動化産業向け電子センサ・部品の分野で世界市場リーダー
輸出比率	80%
国際規格	全世界の生産工場がISO 14001、ISO 80079-34又はISO 9001を取得
国外拠点	(生産)ハンガリー・シンガポール・インドネシア・ベトナム・米国 (販売)日本を含む世界主要国に40以上の支店
主な顧客	(工業用センサ)産業用機械、自動車、特殊車両、再生可能エネルギー、 印刷製紙、プロセス機器、ドア・ゲート・エレベータ (防爆技術)造船・洋上設備・海事産業、石油ガス、化学、製薬、発電、水処理
カタログ・会社案内	http://www.pepperl-fuchs.co.jp/japan/ja/21.htm (日本支社ホームページ)

沿革

- 1945年 ウォルター・ペッパールとルードヴィッヒ・フックスがマンハイムでラジオ修理店を創業し、
変圧器の生産を開始
- 1959年 近接スイッチ第1号を開発
- 1973年 英国に初の国外販売拠点を開設
- 1979年 アジア進出の拠点として、シンガポールに欧州圏外で初の工場・支店を開設
- 1983年 米オハイオ州ツインズバーグに米国本社を設置
- 1991年 ファクトリーオートメーション、プロセスオートメーション事業の立ち上げ
- 1993年 国際規格ISO 9001を初めて取得
- 1996年 独トゥットリンゲンのHohner社を買収し、エンコーダをラインナップに追加
- 2000年 インドネシア・ビンタン工場稼働

<次ページに続く>

Pepperl+Fuchs GmbH

沿革

- 2006年 独Copper Crouse-Hinds GmbHから本質安全防爆技術事業、OJ Electronicsからセパレータアラームシステム事業をそれぞれ買収し、プロセスオートメーション事業を拡大
- 2010年 独シーメンスの近接センサ事業を買収
- 2012年 マンハイム本社に新欧州物流センターを開設
- 2017年 世界8カ国(独・米・シンガポール・ハンガリー・印・インドネシア・ベトナム・チェコ)にある本・支社の従業員数が5,600人に到達

プロフィール

当社は1945年、ラジオ技術者のウォルター・ペツパールと銀行家のルードヴィヒ・フックスによって設立された。2人の会社は1959年に近接スイッチ第1号の開発に成功し、ここからサクセスストーリーが始まる。そして今日では、電気防爆・センサー技術分野のパイオニア・発明者として世界中の顧客企業に知られるようになった。インダストリー4.1の分野でも、当社が提案する革新的なソリューションはすでに重要な役割を担っている。



ドイツ・マンハイム本社



工業用センサ



防爆技術関連製品

Pilz GmbH & Co. KG

プラントオートメーション

Felix-Wankel-Straße 2
73760 Ostfildern, Germany
Tel. +49 (0) 711-3409-0
www.pilz.com

製品

センサ技術
オートメーションシステム「PSS 4000」
リレー
小型コントローラ
安全PLC
ドライブ技術
メカトロシステム
操作及び監視
ネットワーク、ソフトウェア

代表	Renate Pilz, Susanne Kunschert, Thomas Pilz (Managing Partners) * 同族経営
E-Mail	info@pilz.de(ドイツ本社)、info@pilz.co.jp(日本)
従業員数	2,200人(2016年)
設立年	1948年
売上高	3億600万ユーロ(2016年)
市場ポジション	安全オートメーションの分野で技術リーダー
輸出シェア	71.2%(2016年)
国際規格	ISO 9001(品質:1994年)、ISO 50001(エネルギー:2016年)、 ISO 14001(環境:2016年)
国外拠点	6大陸に40支店
特許	180件(2013年)
研究開発費率	19.8%(2016年)
カタログ・会社案内	https://www.pilz.com/ja-JP (日本支社ホームページ)

沿革

- 1948年 ヘルマン・ピルツが南ドイツ・エスリンゲンにガラス器の製造加工会社を設立
- 1969年 制御システムの1号機「EUROPILZシステム」発売。海外支店の設置を開始
- 1987年 安全リレー装置の1号機「PNOZ」の発売が、社の大躍進につながる
- 1999年 分散型ネットワーキング向けの初代安全バスシステム「Safety BUSp」の発売
- 2006年 世界で唯一の3Dゾーン監視用安全カメラシステム「Safety EYE」
- 2008年 本社を拡張し、技術センターを新設
- 2009年 インダストリー4.0対応のオートメーションシステム「PSS 4000」の発売
- 2017年 前年の売上高が初めて3億ユーロを突破したと発表。世界マーケットリーダーインデックス(発行:独マーケットリーダーアカデミー、スイスのザンクト・ガレン大学)で、『産業プロセス向け安全・制御技術:電気電子工学』部門の2017年世界マーケットリーダー・チャンピオンに選出

Pilz GmbH & Co. KG

プロフィール

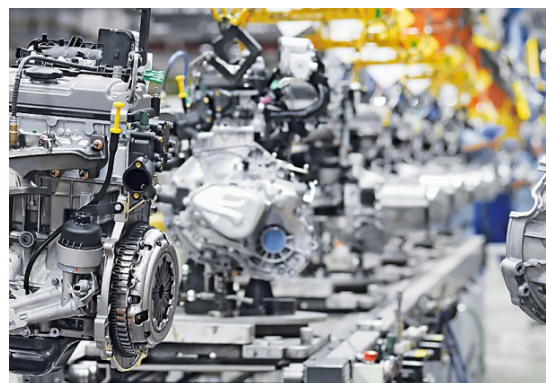
1948年創業のピルツ社は、“作業員・機械・環境の安全を守る(企業)”として、世界の産業界でその名が知られている。当社が1987年に発売した安全リレーシステム「PNOZ」(「ピルツEストップ・ポジティブ先導」のドイツ語略)は、その性能が高く評価され、今日では世界で最も普及している安全リレーシステムとなっている。この「PNOZ」とその後継モデル「PNOZ multi」(2002年)以外にも、当社が安全オートメーションの技術リーダーの地位を確立した技術革新がある。例えば、安全バスシステム「Safety BUSp」(1999年)や世界初の機能を備えた安全カメラシステム「Safety EYE」(2006年)がその一例に挙げられる。



ドイツ・オストフィルダーン本社



PSS 4000



自動車セクタの機械安全

**Römheld GmbH
Friedrichshütte**
生産・組立・クランピング・駆動技術

Römheldstraße 1-5
35321 Laubach, Germany
Tel. +49 (0) 6405-89-0
www.roemheld-gruppe.de

製
品

◆クランピング・エレメント

油圧シリンダー、電動クランピング・エレメント、油圧クランピング・エレメントなど

◆ハンドリング機器

◆リニア駆動機器

駆動ユニット

◆プレス装置

圧入装置

代表	Julia Reichert, Matthias Ehrhardt, Hans-Joachim Molka, Rudolf Rackerseder
E-Mail	info@roemheld.de ※同族経営
従業員数	510人
設立年	1879年
売上高	1億500万ユーロ
市場ポジション	油圧クランプならびに関連商品におけるリーディングカンパニー
輸出比率	50%
国際規格	EN ISO 9001:2015、EN ISO14001:2015、BS OHSAS 18001:2007、 ISO 50001:2011
国外拠点	英国、フランス、米国、中国、日本、韓国
カタログ・会社案内	日本／ロームヘルド・ハルダー株式会社 (http://www.rohal.jp/)

沿 革

- 1879年 アドルフ・ロームヘルドがラウバッハのフリードリヒスヒュッテ鋳物工場内に鉄工所を設立
- 1948年 Maschinenfabrik und Eisengiesserei A.Römheld KGを設立
- 1967年 現本拠地にエンジニアリング部門を設立
- 1984年 ドイツ国内でキャド（CAD、コンピューター支援設計）導入の先駆け企業となる
- 1991年 Fertigungstechnik Weißenfels GmbHとHilma-Römheld GmbHを通じてビジネスを拡大
- 2007年 フリードリヒスヒュッテ鋳物工場設立300周年
- 2014年 ラウバッハの生産施設を拡大
- 2016年 中国・南京に生産施設を開設
- 2017年 磁気クランピング技術推進のため合併事業ロームヘルドRiVi GmbHを立ち上げ

Römheld GmbH Friedrichshütte

プロフィール

伝統を守り続けて130年、ドイツ中部ヘッセン州ラウバッハに本拠を置く当社は今日、油圧クランピング・生産技術の分野で世界の市場リーダーに成長した。一般産業用の各種油圧関連製品から駆動技術部品・システムまで幅広い製品ラインナップを提供している。この多様な製品群が、個々のお客様のニーズにフィットした製品の開発・提供を可能にしている。



ドイツ・ラウバッハ本社



Centrick・Rotary-tilt-manipulator



D 8.026 Power Units in Modular Design

Schlemmer Holding GmbH

自動車部品

Einsteinring 10
85609 Aschheim, Germany
Tel. +49 (0) 8121-804-0
www.schlemmer.com

製品

コルゲートチューブ(高耐熱性、電線摩耗軽減、小動物食害防止など各種機能を持つ)
ケーブルグランド(金属製、プラスチック製、EMC対策、ATEXなど)
Fixing Clips
Clamping Clips
中間分岐
タイバンド

代表	Josef Minster (CEO)、Christian von der Linde (CFO)
E-Mail	info@schlemmer.com (ドイツ本社)、info-japan@schlemmer.com (日本)
従業員数	約3,000人 (2016年)
設立年	1954年
売上高	2億9,800万ユーロ (2016年、連結)
市場ポジション	市場リーダー
国際規格	ISO TS 16949、ISO 14001、ISO 9001、OHSAS 18001 ※拠点によって異なる
国外拠点	アジア(中国、インド、日本、韓国、マレーシア等)、米国、ブラジル、欧州、豪州、 チュニジアなど60拠点以上
日本の取引先	住友電装、矢崎総業、日本特殊陶業、ユニオンマシナリ、東亜電機工業
カタログ・会社案内	イプロス (https://premium.ipros.jp/schlemmer/) 日本語カタログのダウンロード可

沿革

- 1954年 ヨーゼフ・シュレンマーがバイエルン州ミースバツハにて創業
- 1965年 ケーブルグランド及び保護管の市場開拓に注力。内外に代理店を設置し、外国に進出
- 1978年 新型ケーブリングシステムの開発と販売
- 1980年 本拠地をミュンヘン近郊のポイングに移転
- 1983年 ベルリンのKabelsignalを買収
- 1988年～シンガポール支社設立。計画的な国際化戦略を導入し、以後マレーシア、フランス、イタリア、スペイン、メキシコ、モロッコ、チュニジア、中国、ブラジル、米国、日本、ニカラグア、韓国、ルーマニア、ロシアなど世界各地に支社を開設
- 2007年 売り上げ1億ユーロ突破
- 2013年 Karl Maier GmbH & Co.KGの全株式を取得
- 2014年 ベルリン近郊のHoppe Kunststoffspritzerei und Formenbau GmbH & Co. KGを買収
- 2017年 7月にミュンヘン近郊アッシュハイムに本社機能を移転し、欧州技術センターを新設

Schlemmer Holding GmbH

プロフィール

シュレンマーグループは、高度に専門化した合成素材・金属ソリューションの開発生産における世界有数の技術リーダーである。南ドイツ・ミュンヘン近郊ポイングを本拠に、ケーブル保護システムで60年以上の経験を積み、今日では世界60カ国以上に拠点を持つ業界のリーディングカンパニーに成長した。当社のビジネススタイルの特長は、高度な知識と判断力を兼ね備えたコンサルティング・サービスパートナーとして顧客をサポートすること。2017年7月には、本社をミュンヘンにより近いアッシュハイムに移転し、欧州技術センターを新設。モダンなデザインの新社屋は、床面積4,300㎡で、うち技術センターは400㎡のスペースを持つ。



2017年に完成した本社新社屋



製品適用例



K. A. Schmersal Holding GmbH & Co. KG

安全技術

Möddinghofe 30
42279 Wuppertal, Germany
Tel. +49 (0) 202-6474-0
www.schmersal.com

製
品

セーフティスイッチ
監視機器
安全な信号処理
オートメーション技術
防爆機器
エレベーター機器

代表	Dipl.-Ing. Heinz Schmersal, Dipl.-Wirt.-Ing. Philip Schmersal	* 同族経営
E-Mail	info@schmersal.com	
従業員数	1,750人(2015年)	
設立年	1945年	
売上高	2億1,000万ユーロ(2015年)	
市場ポジション	機械安全の分野で世界3大メーカーの1つ	
輸出比率	45%	
国際規格	DIN EN ISO 9001, DIN EN ISO/IEC 17025, DIN EN ISO 50001	
国外拠点	インド・中国・ブラジルに工場の他、世界60カ国に子会社・関連会社・販売拠点	
主な顧客	エレベーター、エスカレーター、包装、食品加工、工作機械、重工業、自動車メーカー	

カタログ・会社案内 <http://www.schmersal.jp/> (日本支社ホームページ) ※日本語カタログあり

沿 革

- 1945年 カート・アンドレアスとエアンスト・シュメアザール兄弟がエレベーターの部品製造会社を設立
- 1947年 機械操作式電子制御機器の生産を開始
- 1950年代 製品ポートフォリオを引き続き拡大。多くの制御機器が安全関連商品に採用される
- 1960年代 ビジネスのグローバル化を早期に察知し、世界の主要市場に支店を開設
- 1974年 ブラジル・サンパウロに生産販売拠点としてACE Schmersalを設立
- 1981年 主要商品の1つであるセーフティスイッチ「AZ 16」を開発
- 1982年 シュテファンとハインツ・シュメアザール(従兄弟)が経営陣に就任
- 1994年 独レーネのsteute Schaltgeräte GmbHを合併
- 1997年 独シュンク社からElan Schaltelemente GmbH & Co.KG(ヴェッテンベルグ)を買収
- 1999年 中国・上海に製造拠点を設立
- 2004年 ハインツ・シュメアザールが唯一の株主となる。会社の新指標としてビジネスを3分野に特化:
エレベーター機器、オートメーション技術、安全技術
- 2010年 創業家3代目のフィリップ・シュメアザールが経営に参加
- 2011年 売上高1億8,000万ユーロで過去最高を更新

〈次ページに続く〉

K. A. Schmersal Holding GmbH & Co. KG

沿革

2013年 ELAN Schaltelementeがグループに合併し、現社名(K.A.Schmersal)に名称変更。

Boehnke + Partner Steuerungssysteme GmbHの買収

2016年 機械安全、労働安全のアドバイスや安全ソリューションを計画・導入する独立したサービス部門を「tec.nicum」内に開設

プロフィール

エレベーターの部品製造会社として1945年に設立された当社は、創業後まもなくスイッチ機器の開発・製造を開始する。50年代には建築業界向けにリミットスイッチを生産。その後80年代に台頭した標準化が特殊セーフティスイッチの需要拡大を促進する。1981年にはセーフティスイッチ「AZ15」と「AZ16」の開発に成功。両製品は同分野で試金石となり、現在でも当社最大のベストセラー製品である。自動車製造は当社の製品が重用される産業分野の1つである。自動車製造における機械安全上の特徴として、自動化・標準化の割合が高く、工場規格が重視される点が挙げられる。当社の電磁ロック付セーフティドアスイッチは、通過可能な危険領域に対応できるように緊急脱出ハンドルなどの追加機能を搭載している。シュメアザールグループは今日では、2万5000件以上のスイッチ機器を提供する世界のリーディングカンパニーに成長した。



ドイツ・ヴッパータール本社



セーフティドアスイッチ



セーフティライトカーテン



コマンド・表示装置

G. Siempelkamp GmbH & Co. KG

機械・プラントエンジニアリング

Siempelkampstraße 75
47803 Krefeld, Germany
Tel. +49 (0) 2151-9230
www.siempelkamp.com

製
品

◆機械・プラントエンジニアリング

木製パネル用生産設備、金属成形プレス、ゴム工場設備など

◆鑄造技術

放射性廃棄物用カスク、大型鑄物など

◆エンジニアリング・サービス

代表	Dr.-Ing. Hans W. Fechner (Spokesperson)、Elisabeth Bienbeck-Ketelhohn Dr. rer. nat. h.c. Dieter Siempelkamp (アドバイザリーボード会長) * 同族経営
E-Mail	ホームページから送信可能
従業員数	2,637人 (2016年)
設立年	1883年
売上高	7億3,280万ユーロ (2016年)
市場ポジション	木製素材用プレスラインの世界市場リーダー
輸出比率	90%
国際規格	DIN EN ISO 9001、DIN EN ISO 14001、DIN EN ISO/IEC 17025、 DIN EN ISO 50001 (本社)
国外拠点	(生産) チェコ、シンガポール、インド、中国、米国 (販売) オーストリア、仏、スペイン、トルコ、ベラルーシ、ロシア、中国、ブラジル
カタログ・会社案内 ホームページからダウンロード可能 (独・英)	

沿 革

- 1883年 ゲアハルド・ジンペルカンプがライン川下流地域の繊維工業向けに、掘削ホットプレートおよびプレス機の開発・製造を開始
- 1900年～自社鑄造所を開設。ベニヤプレス、成形プレス、ゴム加硫プレスなど多様な用途に活用できるプレスを開発
- 1950年 高性能のメタル成形プレスが輸出でヒット商品となる
- 1976年 独GNS社 (原子力サービス) と「CASTOR® cask body」を共同開発し、今日では量産している。同年試験場を開設
- 1984年 「ContiRoll®」プレス発売
- 2003年～ Siempelkamp Maschinen-und Anlagenbauが木製素材用プレスの世界市場でトップシェアを獲得。また、世界最大の金属成形用プレス機を生産。鑄造所は手込め式としては世界最大級。
- 2008年 創業125周年を迎える
- 2017年 クレーフェルト本社工場の拡張計画を発表

G. Siempelkamp GmbH & Co. KG

プロフィール

2018年に創業135年を迎える当社は、「機械・プラントエンジニアリング」、「鑄造技術」、「エンジニアリング・サービス」の3つの主要ビジネス部門からなる。「機械・プラントエンジニアリング」部門は木製素材用プレスラインにおいて、世界のリーディングカンパニーに成長している。また、「鑄造技術」部門では、重さ320トンの被加工物の加工が可能な世界最大の手込鑄造所を持つ。自動車業界の顧客メーカーは、当社のプレス技術をアルミ製リムの他、クランク軸や半完成部品の生産に活用している。また、当社の厚板ブランピングプレスは、厚さ2.5～12mmのプレートの同時成形を可能にし、高品質なシャシー、ボディパーツの試作部品の他、クロスメンバー、ガセットプレートなどの商用車向け付属部品の製造に最適である。



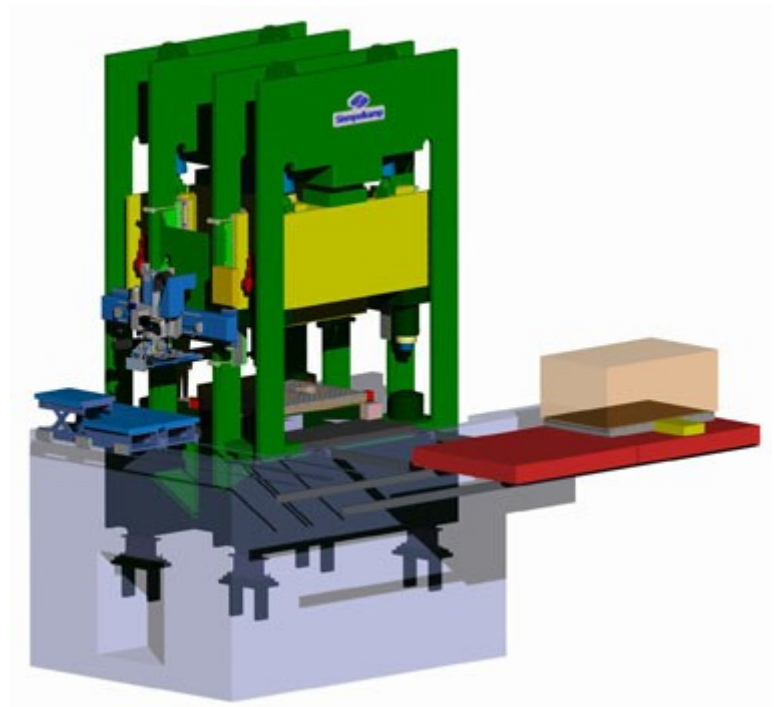
代表: Ms. Bienbeck-Ketelhohn(左)と
Dr.-Ing. Hans W. Fechner(右)



ドイツ・クレーフェルト本社



トラック用鍛造リム



厚板ブランピングプレス

SIKORA AG

産業エレクトロニクス

Bruchweide 2
28307 Bremen, Germany
Tel. +49 (0) 421-48900-0
sikora.net

製
品

◆ワイヤー&ケーブル

データ・自動車用・設備ケーブル、絶縁・被覆ライン、高圧ケーブル

◆ホース&チューブ

ホース、チューブ押出ライン

◆光ファイバー

◆樹脂

代表	Dr. Christian Frank (CEO)、Harry Prunk	* Sikoraグループは同族経営
E-Mail	sales@sikora.net(本社販売担当)	
従業員数	200人(2015年)	
設立年	1973年	
売上高	—	
市場ポジション	ケーブルの寸法を測定するX線システムにおける市場リーダー	
輸出比率	90%以上	
国際規格	ISO9001:2008	
国外拠点	フランス、イタリア、トルコ、ウクライナ、ロシア、UAE、エジプト、中国、インド、韓国、日本、米国、ブラジル、マレーシア	
カタログ・会社案内 https://sikora.net/ja/ (日本支社ホームページ)		

沿 革

- 1973年 ハラルド・シコラがブレーメンにて一人法人HARALD SIKORAを設立
- 1974年 業界初のCVライン用ポジションセンサー「sag control」を開発
- 1979年 会社形態をSIKORA INDUSTRIELEKTRONIK GmbHに転換
- 1990年 X線測定装置「X-RAY8000」の供給を開始
- 2000年 「X-RAY8000」の技術を応用した新製品「X-RAY2000」を発売。それまで不可能とされていたワイヤー／ケーブルの肉厚を被覆、絶縁ラインで測定可能に
- 2002年 株式会社(SIKORA AG)に移行
- 2007年 ブレーメン本社敷地内に技術センターの建設を開始。振動やバウンスが起こる状況下でも、正確かつ高精度に中圧・高圧・超高压ケーブルを測定できる「X-RAY 8000 NXT」を開発
- 2011年 会社を2つの事業部門に分割: SIKORA HOLDING GmbH & Co.KGとSIKORA AG
- 2013年 創業40周年を機に新市場へ参入
- 2015年 X線、赤外線又は光学技術を活用してペレット、フレーク及びフィルム等を検査・分析する新システム「PURITY CONCEPT」を発売
- 2017年 東南アジア地域のカスタマーサービス拠点としてマレーシア支社を開設

SIKORA AG

プロフィール

1973年ハラルド・シコラは、ブレーメン市にあるガレージで製品第1号を開発。わずか数回の試験運転を経て、当時のケーブル産業が待ち望んだ計測機器「WANDEXE」が世に送り出された。ワンマン企業としてスタートした当社は今日、輸出比率90%を持つ世界的ハイテク企業へと成長を遂げた。世界の主要地域に支社を持つ今も、当社の測定・コントロールシステムは“Made in Germany”であり続ける。



X-RAY 8000 NXT



CAPACITANCE



CENTERVIEW 8000

Swoboda KG 自動車部品

Max-Swoboda-Straße 1
87487 Wiggensbach, Germany
Tel. +49 (0) 8370-910-0
www.swoboda.de

製 品

ステアリング・コントロール・ユニット
トランスミッション・コントロール・ユニット
各種センサー
磁気アセンブリ
コネクタ
パワーモジュール

代表	Clemens Bauernfeind、Michael Follmann (Sprecher)、Christian Göser、 Nikolaus Pfister * 同族経営
E-Mail	info@swoboda.de
従業員数	3,200人、(Swoboda－Hartmannグループ:3,500人)
設立年	1947年
売上高	4億ユーロ ※Swoboda－Hartmann連結
市場ポジション	自動車電子部品向けの高精度金属プラスチック複合部品における世界的リーダー
国際規格	ISO 9001:2008、ISO 14001:2009、ISO/TS 16949:2009(本社) * 拠点により異なる
国外拠点	チェコ、ルーマニア、中国、米国、メキシコ
カタログ	ホームページ上で商品プレゼンテーション、サプライヤー向け情報の閲覧可能

沿 革

- 1947年 マックス・スウォボダがバイエルン州ヴィヒゲンスバッハにて繊維メーカー、Textil GmbHを創業
- 1961年 ワイヤハーネスの製造を開始し、自動車業界に参入
- 1994年 外国進出の皮切りとしてチェコ支社を設立
- 1995年 初の複合型連結オートメーションシステムの作動
- 1997年 ミシガン州グランドラピッズに米国支社を設立
- 2001年 エアバッグコントロールユニット向けセンサハウジングの完全自動生産プラントの始動
- 2007年 オーナーシップが移行するも、同族経営の形態は保つ
- 2009年 自己診断機能付センサアセンブリ1号機の製造開始
- 2011年 中国クンシャン市に支社を設立
- 2012年 ルーマニア・ティミショアラのNewTec Innovation SRLを買収
- 2014年 メキシコ・ケレタロにスウォボダ・メカトロニクスSA de CVを設立。ニュルンベルク近郊の工具工場、Rainer Mattausch GmbHを買収
- 2016年 同工具工場の本拠をフルトに新設したSwoboda tool shop centerに移転

Swoboda KG

プロフィール

当社は繊維メーカーとして設立されたが、創業者はその後自動車産業に大きな将来性を見出し、1960年代に現在の分野に事業転換した。早くから射出成形技術を導入した他、85年には巻線技術事業を発足し、会社の歴史に新たな節目を刻んだ。巻線技術はタンク、パイプ、車軸、軸など回転対称部品の生産に適用されている。



メキシコ工場

**Thermik Gerätebau
GmbH
電子工学**

Salzstraße 11
99706 Sondershausen, Germany
Tel. +49 (0) 3632-5412-0
www.thermik.de

製
品

- ◆サーマルプロテクター
(過熱保護装置)
- ◆PTCサーミスタセンサー

代表 Marcel P. Hofsaess * 同族経営
E-Mail info@thermik.de
従業員数 700人以上
設立年 1968年
売上高 4,000万ユーロ(2015年)
市場ポジション バイメタルサーマルプロテクター・PTCサーミスタの世界市場リーダー
輸出比率 60%
国際規格 ISO9001
国外拠点 (生産拠点) ルーマニア、マレーシア、米国
特許 工業所有権1,000件
日本の提携会社 (株)アット(<http://www.at-corporation.com/thermik/index.htm>)
カタログ・会社案内 アット社ホームページで閲覧可能

沿 革

1968年 ペーター・ホフセスが南ドイツのプフォルツハイムに会社を設立
1970年代 最初の特許を登録し、73年にサーマルプロテクター「W1000」を発売
1984年 米国に初の海外支社・工場を設立
1990年 旧東ドイツ地域チューリンゲン州に支社を開設
1992年 マレーシア・クアラルンプールに製造拠点を設立
1999年 欧州で市場リーダーに成長
2003年 ルーマニアに製造拠点を開設
2010年 最高250℃まで計測可能な新「高温シリーズ」を開発。本国ドイツで『最も革新的な中小企業ベスト100』に選ばれる
2011年 本社をプフォルツハイムから独中部チューリンゲン州ゾンダースハウゼンに移転。移転後の特許登録は旧本社時代の10年間に比べて300%増加
2015年 世界初のアークフリー温度リミッター(arc-free temperature limiter)を開発
2016年 『最も革新的な中小企業ベスト100』7年連続受賞の快挙を遂げる

Thermik Gerätebau GmbH

プロフィール

1968年創業のサーミック社は、1970年からサーマルプロテクターの製造開発に注力し、今日では同分野で世界市場のリーダー企業に成長した。現在、国内外で登録している工業所有権は1,000件を超え、業界内の全特許のうち当社所有分は約80%を占める。新製品開発は全て独ゾンダースハウゼン本社に集約され、厳格な情報保護体制の中で行われている。この独自の開発スタイルこそが、当社製品が世界で模造されにくい背景となっている。当社のサーマルプロテクター・バイメタル電気機械スイッチは、自動車関連では電気モーター（換気装置、ポンプ、電気ドライバー）や発電機など多目的に使用されている。



ドイツ・ゾンダースハウゼン本社



高性能スイッチギヤ、アークシールド付



サーマルプロテクター「S01」

Hans Turck GmbH & Co. KG オートメーション技術

Witzlebenstraße 7
45472 Mülheim an der Ruhr, Germany
Tel. +49 (0) 208-4952-0
www.turck.com

製品

各種近接センサ(誘導型、静電容量型、磁気型)
各種センサ(リニア位置、フロー、圧力、温度、レベル、傾斜、バブル用デュアル)
各種インターフェース機器
フィールドバス関連商品
RFID関連商品
コネクタケーブル(センサ・アクチュエータ用、各種フィールドバス用)

代表	Dipl.-Ing. Ulrich Turck、Dipl.-Wirt.-Ing. Christian Wolf * 同族経営
E-Mail	more@turck.com
従業員数	4,200人(2016年)
設立年	1965年
売上高	5億3,000万ユーロ(2016年暫定)
市場ポジション	産業オートメーションの分野で世界的なリーディングプロバイダー
輸出比率	約70%
国際規格	ISO 9001:2008(2015年)、AEO認証
国外拠点	スイス、中国、米国、メキシコ(生産)、世界60カ国に販売パートナー
R&Dレシオ	10%
カタログ・会社案内 日本支社ホームページ(http://www.turck.co.jp/)	

沿革

- 1965年 ターク家のハンス、ヴェルナー兄弟が会社を創業。電気技師の弟ヴェルナーがセンサを開発し、兄ハンスが営業を担当
- 1975年 同社初の海外支社を米ミネソタ州ミネアポリスに設立
- 1987年 電気工学及び製造サービスの拠点としてターク・デュオテックを設立
- 1989年 ザクセン州バイヤーフェルドのMessergerätewerkを買収し、東欧市場に進出
- 1993年 同じ検出距離で全ての金属を検出できる誘導形近接スイッチ「Uprox®」第1号を発売
- 1994年 中国の天津市に完全子会社を設立
- 2000年 海外戦略を強化
- 2006年 設計の自由度が高い産業用RFIDシステム「BL ident®シリーズ」を発表
- 2015年 国外拠点が支店28、販売代理店60以上に拡大
- 2016年 本拠地ミュルハイム・アン・デア・ルールに販売・マーケティング本社新社屋が完成

Hans Turck GmbH & Co. KG

プロフィール

会社の始まりは1965年、ヴェルナー・タークが自宅でセンサと本質安全アンプリレーの開発に成功したことに遡る。ヴェルナーの兄ハンスが営業を担当し、会社はその後急成長を遂げる。同社は今日でも家族経営形態を保ち、社内外において「信頼性」と「品質」にこだわる。自動車産業では、ボディ組立てからホワイトボディ、スタンピング、パワートレイン部門まで様々な過程で、極めて過酷な条件・生産環境下に耐えられる頑強な製品が求められる。当社は、各種センサ、コードセット、RFIDなどの高度かつ豊富な自動化ソリューションの製品ラインナップで、顧客が直面するオートメーションの課題に取り組んでいる。



ミュルハイム・アン・デア・ルール本社



各種センサ



ペイントショップスキッド識別

Weber Automotive GmbH 自動車部品

Otto-Lilienthal-Str.5
88677 Markdorf, Germany
Tel. +49 (0) 7544-963-0
www.weber-automotive.com

製
品

エンジンブロック
シリンダーヘッド
ドライブハウジング

代表	Christian Weber, Daniel Weber, Sven Hattwig	* 同族経営(主要株主)
E-Mail	info@weber-automotive.com	
従業員数	1,500人	
設立年	1969年	
売上高	3億600万ユーロ(2015年)	
市場ポジション	世界の自動車駆動系部品産業におけるリーディングカンパニー	
国際規格	ISO 9001:2008	
国外拠点	(生産)ハンガリー、米国	
主な顧客	アウディ、BMW、メルセデスAMG、ボッシュ、シトロエン、オペル、VW、フィアット等	
カタログ・会社案内	ホームページからダウンロード可能(独・英)	

沿 革

- 1969年 アルバート・ウェーバーが農業を営む父親の鶏舎で、中古の旋盤を使用し事業を開始する。その後ほどなく、MTUやZFフリードリヒスハーフェン社向けに部品の生産を開始
- 1976年 ウェーバーはかつて研修生として勤務したKyburz KG(合資会社)を買収する。若干26歳で同社社長に就任し、半年以内に赤字経営からの脱却を果たす。以後7年間で生産量を3倍に拡大する。シェフラー、BMW、ポルシェ、ダイムラー、ハイデルベルガー・ドルックマシーネン等との取引を開始
- 1987年 競合社シュランメを買収し、生産量を拡大
- 1996年 ドライブコンポーネント関連商品ラインの拡大を視野に、競合他社のJungを買収。これを機に国際化を推進。同社の拠点は4ヵ所(独・ハンガリー・米)、従業員数は300名に拡大
- 1999年 独南部マルクドルフに開発・生産設備を備えた最新式の技術センターを設立。
新施設の総床面積は40,000㎡
- 2005年 創業家2代目のダニエル・ウェーバーが、米チャールストン工場の経営を引き継ぐ
- 2006年 傘下のウェーバー・フィーバーテックが10年の研究期間を経てE-LFTプロシージャを開発
- 2010年 08年に経営破たんしたGörtz & Schieleの米工場(デトロイト近郊)を買収
- 2014年 ベルリン近郊ベルナウに新工場を開設。エンジンブロックなどエンジン、駆動系の製品を生産
- 2016年 仏投資会社Ardianがウェーバー・オートモーティブの大半の株式取得と増資を発表。創業家は引き続き主要株主として経営に携わる
- 2017年 ベルリン近郊マクデブルクのSchaeffer Motorenelementを買収

Weber Automotive GmbH

プロフィール

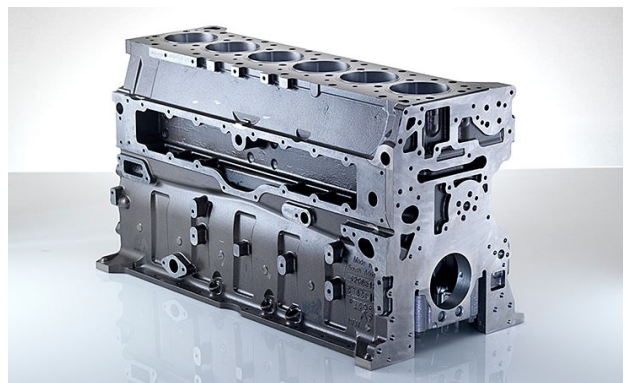
ウェーバー・オートモーティブは当初、個々の部品を提供するメーカーだったが、今日ではエンジン・駆動装置の部品製造だけでなく、駆動システム全体をデザイン・提供する企業に生まれ変わった。当社はまた、個別部品およびシステムの研究・開発・設計などの分野において、豊富な経験と専門知識をもとに顧客企業を支援している。われわれは、“部品メーカーからシステム提供メーカーへの転換”という重要な企業戦略の1つを実現し、世界自動車部品産業における技術リーダーの地位を確立している。



ドイツ・マルクトルフ本社



経営陣: 左からC.Weber、D.Weber、S.Hattwig



エンジンブロック

WITTE Automotive 自動車部品

Höferstr.3-15
42551 Velbert, Germany
Tel. +49 (0) 2051-498-0
www.witte-automotive.com/

製
品

◆ボンネットとテールゲート

テールゲートモジュール
各種ロック
多機能モジュール

◆ドア

シートバック予防安全システム
シートバックラッチ

◆ドア

ドア用モジュール・ハンドル
自動車用ブラケット

代表	Ralf Eble, Christian Kaczmarczyk, Rainer Gölz (CEOs)
E-Mail	info@witte-automotive.de
従業員数	4,600人(2016年)
設立年	1899年
売上高	5億9,500万ユーロ(2016年)
市場ポジション	メカトロニクスロックシステム分野における世界の技術リーダー
国際規格	(本社)ISO 9001、ISO/TS 16949、ISO 14001、ISO 50001
国外拠点	フランス、スウェーデン、ブルガリア、チェコ
主な顧客	フォルクスワーゲングループ、ダイムラー、ボルボカーズ
日本の取引先	トヨタ、ホンダ、ルノー日産、トヨタ紡織
日本の拠点	Vast Japan: Mr.Jay Kurosaki(info@vastglobal.com)
カタログ・会社案内	ホームページに主要製品の情報を掲載(独・英)

沿革

- 1899年 エヴァルド・ヴィッテがスーツケースなどの鍵製造メーカー、WITTE(ヴィッテ)を創業
- 1945年～第2次世界大戦以降ヴィッテオートモーティブは、自動車メーカー向けに、ドア用ブラケット(金具)の製造を始める。VWの「ビートル」が、業界で初めて当社のドア関連製品を採用
- 1953年 VW、ダイムラー・ベンツ、BMW、MANなど独・欧州系大手自動車メーカーとの提携を強化
- 1992年 チェコ・Nejdek工場の開設を機に国際市場における競争力を確保。その後Riewer Kunststoff(RIKU)の株取得(1995年)、KROSTA Metalltechnikの買収(1996年)などを通じて会社を拡大
- 1993年 台湾企業と提携
- 1999年 米ストラテック・セキュリティ・コーポレーションと戦略提携し、VASTを設立
- 2006年 VASTに米ADACオートモーティブが加わる。以後VASTはブラジル、中国、日本、韓国で合併事業を展開
- 2008年 独FINGSCHEIDT Automotive GmbHを買収
- 2010年 ブルガリアでの生産を開始。2014年に同国ルセ市に自社工場を開設
- 2016年 チェコに世界最先端の設備を備えた塗装済み室外ドアハンドルの生産工場を開設。スウェーデンに支社を開設

WITTE Automotive

プロフィール

ヴィッテ・オートモーティブは、1899年にスーツケースなどの鍵を製造するメーカーとして創業。第2次世界大戦後に、自動車用ドアブラケットの製造を開始した。当社のドア製品を初めて採用した車がフォルクスワーゲンのビートルである。1970年代にはロック、ラッチの開発活動を拡大。1992年のチェコ Nejdek 工場の開設が、国際市場における競争力確保につながった。その後2000年に米ストラテック・セキュリティ・コーポレーションとの戦略提携を通じてヴィッテ・ストラテック(後の VAST: Vehicle Access Systems Technology)を設立、2006年には米ADACが新たに加わり、ブラジル、中国、日本、韓国と拠点を順次拡大している。



ドイツ・フェルバートにある
WITTEグループ本社



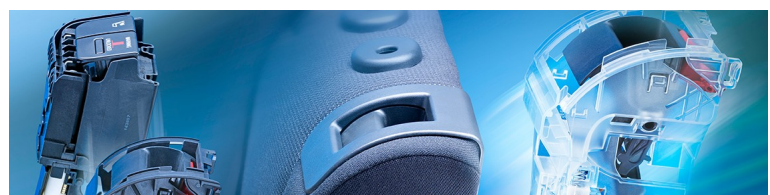
経営陣: (左から) Mr. Eble、
Mr. Kaczmarczyk、Mr. Gözl

日本市場における戦略・課題

日本におけるビジネス拡大には大いに関心がある。目標達成のためには、日本の消費者に当社が持つ革新的な製品及びグローバルな生産体制を積極的に訴求して行きたい。同市場における課題は、サプライヤーネットワークへのアクセスである。



ドアハンドル



シートバック予防安全システム

Witte Barskamp KG

自動車部品

Horndorfer Weg 26-28
21354 Bleckede, Germany
Tel. +49 (0) 5854-89-0
www.witte-barskamp.com
Web: www.adtool.sk

製品

- ◆モジュラープロジェクトフィクスチャー装置
測定・生産のためのフィクスチャー装置「アルフィクス」
- ◆真空クランプ技術
標準装置
受注生産による装置
- ◆委託生産
航空機産業

代表	Horst Witte, Andreas Witte * 同族経営
E-Mail	info@witte-barskamp.de
従業員数	220人(2014年)
設立年	1969年
売上高	—
市場ポジション	高強度アルミニウム製グリッドプロフィールにおけるフィクスチャー装置の世界市場リーダー
輸出比率	約45%
国際規格	ISO 9001 EN 9100、ÖKOPROFIT(環境マネジメント)、AEO
国外拠点	(支社)シンガポール、メキシコ、米国
主な顧客	BMW、EDAC、HEXAGON、Langer、mtc、Opel、Penso、アウディ、VW、アエロテック、他多数
日本国内拠点	Witte Systems Japan(千葉県柏市、Tel:0081-471-691583)
カタログ・会社案内	日本語カタログあり (https://media.horst-witte.com/cms-downloads/jp/Alufix8pageJapanese.pdf)

沿革

- 1969年 ドイツ北西部ニーダーザクセン州バルスカンプ(現本拠地、ブレケーデ)にて、ホルスト・ヴィッテが創業
- 1982年 真空クランプ技術の製品化
- 1985年 製品の輸出を開始
- 2001年 シンガポールにヴィッテ・ファーストを設立
- 2002年 ワーク素材治具セットアップ用サンドウィッチプレートの開発
- 2003年 メキシコに拠点を設立
- 2004年 米国に拠点を設立
- 2005年 ISO EN DIN9001と9100を取得
- 2010年～FTSシステム、可動性自立サンドウィッチパネルのさらなる開発

Witte Barskamp KG

プロフィール

Witte Barskampは、1969年よりドイツ北部ブレーケーデを本拠に、アルミニウムの高度技術開発・その応用部品を製造している。当社は今日、200件以上の工業所有権およびブランド標示を所有し、フィクスチャー装置の分野で世界市場リーダーの地位を築いている。創業者ホルスト・ヴィッテは、広範な製品ポートフォリオと技術的リーダーシップで、スモールビジネスを従業員220人の世界的企業に成長させた。



アルフィクス



バキュームユニット



http://fbc.de/business/research_list/research/

産業・業界・流通経路・消費者・政策動向・規制動向

市場特性、商品、技術動向、業界を的確に把握する上での調査を実施
1ヶ月のスポット調査から数ヶ月のプロジェクト調査まで

各種受託調査お任せ下さい!

ロングリスト・ショートリスト調査

- 潜在取引先や競合企業を調査・検索
- 現地言語で電話インタビューし、リストアップ

お問い合わせは調査部 担当/藤田まで
電話 : +49-(0)69-5480950

http://fbc.de/business/research_list/list_research/

自動車・工業製品・消費財のサンプル製品購入代行いたします

<http://fbc.de/business/trading/>

ドイツのグローバル中堅企業 世界をリードする21社:自動車業界編

2017年9月 第1版発行

編集 FBC Business Consulting GmbH

発行所 FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str. 8
60433 Frankfurt am Main, Germany
Tel. : +49 (0)69 5480 950
Fax : +49 (0)69 5480 9525
<http://www.fbc.de>

■ 注意 ■

- 1.本書の全部または一部に関して、無断の複写・複製・引用、メディアへの転載・転送は固く禁じられています。
- 2.本書に掲載の内容を参考に行われた取引に起因する損害およびトラブルについて、販売元は一切の責任を負わないものとします。